

令和元年6月24日付【水道産業新聞】
水コン協 コンサルタントのさらなる成長へ
＜第二期中期行動計画を公表＞

第二期中期行動計画を公表

水コン協 コンサルタントのさらなる成長へ

全国上下水道コンサルタント協会（会長＝村上雅亮・NJS社長）は13日、都内で第38回定時社員総会を開いた。議事で、平成30年度計算書類、規則改正、役員の変更について了承した。



13日に開かれた定時社員総会

か、30年度事業・決算、令和元年度事業計画・収支予算の報告と表彰式が行われ、谷戸善彦・企画委員長からは、AWSC J Vision（水コン協ビジョン）2015-2025に基づく第二期中期行動計画の発表があった。



村上会長

開会にあたり、村上会長は「水と環境を守るため、地域と民間企業が一体となって取り組む必要があり、とりわけコンサ

ルタントは、専門家としての役割をしっかりと果たしていかなければならぬ。上下水道の担い手としての意識を高め、期待される役割を果たしていく中で、コンサルタント自身も変化し、成長する必要があるという認識のもと、令和元年をスタートとする第二期中期行動計画を策定した。計画が着実に実行され、上下水道の持続的な発展とコンサルタントのさらなる成長につながることを切に願っている」とあいさつした。

規則改正は、会費規則のうち、会員現況調査書の記載項目について、役員

に関して、辞任などもなす新理事の選任について、いずれも了承した。また、同日に開かれた理事会では、新たに岡山一典・日本水工設計社長、本名元・日本水工設計社長が副会長に選ばれた。新理事は、藤本裕之・日本下水道新技術機構資源循環研究部副部長、岩部秀樹・日本下水道施設管理業協会理事。

表彰式では、入会30年度経過会員4社、災害支援活動による協会活動功労会員13社、功労賞6人、有効賞2人、新技術奨励賞1人に賞状が贈られた。各賞の表彰に続き、受賞者を代表し、功労賞の亀田宏・元会長（東京設計事務所会長）が謝辞を述べた。

令和元年度は、第二期中期経営計画の初年度として、水コン協ビジョン「これからの上下水道サービスの担い手としての挑戦」で示した、多様な官民協働の取り組みをさらに進めていく一方で、働き方改革関連法の成立を受け、「ノー残業デー協会統一キャンペーン」の継続とともに、事業体に対しても、適正な工期確保とウィークリー・スタンス実施への協力を「要望と提案活動」で呼びかけていく。

国が重点とする災害対策においては、協定の締結や支援者育成講習などを通じた支援の取り組みとあわせ、情報発信力を強化する。

新しい時代に魅力あるコンサルタントをつくる

第二期中期行動計画

第二期中期行動計画（2019-2021）は、タイトルメッセージとして「新しい時代に魅力あるコンサルタントをつくる」コンサルタントの信頼性を高め、コンサルタントの社会的地位向上へ」とした。

谷戸委員長は、「第一期の間に、わずか3年とはいえ、外部環境が急激に変化したことを受け、広く協会外部の方々の意

見も聞きながら策定したことが非常に大きい」と話した。策定の背景としては、働き手の不足と働き方改革、急速なデジタル化・グローバル化と技術革新、水道の基礎強化を目的とした水道法の改正や、新下水道ビジョン加速戦略に示された官民連携の推進（防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策）、施設の老朽化対策の推進などにおい

て、水コンサルタントが当事者として大きく関わり、関係者の期待も非常に大きいことを挙げた。計画では、3年間で力を入れる活動として、「10の主要行動」を掲げ、魅力ある職業・魅力ある企業を目指すことを水コンサルタントの究極の目標とし、優秀な人材の確保と育成を図る。

また、公益社団法人と地域・都市を豊かにする

①水システムを通して

①水システムを通して

①水システムを通して

①水システムを通して

①水システムを通して

①水システムを通して

①水システムを通して

①水システムを通して